

中村郷美 NAKAMURA Satomi
MAMEMI
渡辺あふる WATANABE Afuru

長村良彦 OSAMURA Yoshihiko
西谷文孝 NISHITANI Fumitaka

2021.4.13 (Tue) — 6.6 (Sun)
10:00-18:00 (Closed Monday)

Sp!nd
Sp!nd

（土
か
ち
ろ
日）

作家プロフィール



長村良彦

OSAMURA Yoshihiko

1968 年生まれ 京都市出身
アトリエとも

色彩が好き、でも描きたいものが見当たらない。ならば「型」があれば描けることに着想し、7、8 年前から「テンプレート定規」を使った絵画制作に励んできた。数多く所有している定規の中から、動植物や幾何学模様など様々な形を細やかに構成していく。下絵にはカラー芯シャープペンシルを使用し、その後シャープペンシルのクリーナーピンを取り付けた自作のペンで着色する。半年近くかけて制作される作品からは、反復する図像の美しさと可能性、描くことへの色気に溢れている。

中村郷美

NAKAMURA Satomi

1958 年生まれ 京都市出身
社会福祉法人なづな学園

15 歳から 48 年間通うなづな学園で、誰よりも絵を描くことが好きで休日もグループホームにて制作活動が続けている。女性たちが通うなづな学園では季節ごとに旬の花を描く習慣があり、その昔ご近所さんが分けてくださるお庭の花を、飾るだけではもったいないからとみんなで描き始めたことがきっかけとなっている。中村の好きな花はチューリップ・桜・ガーベラ・水芭蕉。「パーっと咲くところが好きだ」と、はにかみながら語る。純真なその作品群は、無垢に咲く花そのものの強さを映し出している。

西谷文孝

NISHITANI Fumitaka

1977 年生まれ 京都市出身
NPO 法人スウィング

2006 年より NPO 法人スウィングに所属。2007 年頃から詩を書き始め、その際に書いた文字が好評だった為、文字を描く表現を始める。更にその延長で墨を使って絵を描きはじめ、近年では刺繍作品の制作にも取り組んでいる。刺繍を制作する時は、はじめは上手くいくか心配だったがやっているうちに慣れ、昭和アニメや昭和歌謡を聴くとやりやすい。作品タイトルの「ニレの花」は、「高校三年生」の歌詞の中から拝借している。独特の線で織りなす花々の戯れは、切なくも前向きな名曲をカ一杯に合唱しているようだ。

MAMEMI

京都市出身
NPO 法人加音

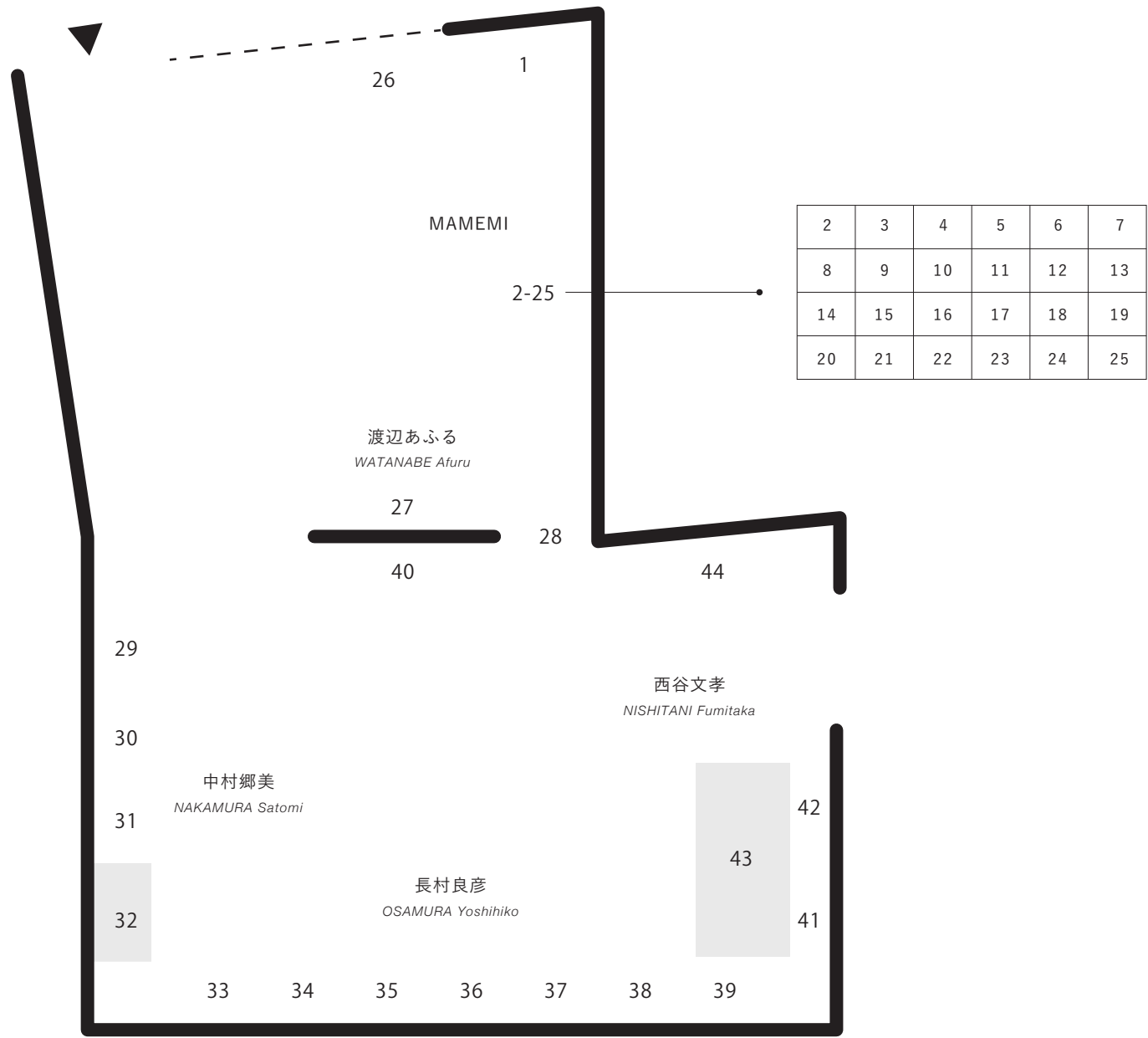
以前は机の前でじっとしていることが多かったが、コミュニケーションの練習を行っていくうちに、明るい色の色鉛筆や鉛筆削りを欲しいと伝えられるようになった。絵を描くことと可愛いものがとにかく好きで、お気に入りのマイメロディーのマスコットを机に置き、休み時間も絵を描き続けている。最近フラワーアレンジメントの雑誌から可愛い花を見つけてはイメージを膨らませ、リズムカルに色鉛筆を躍らせている。弾ける色彩は、彼女のおしゃべりのようで、おちゃめなタイトルと共に愛らしさに満ちている。

渡辺あふる

WATANABE Afuru

1983 年生まれ 千葉県出身
NPO 法人スウィング

中学生の頃より美術部に所属し、ヌードデッサン教室に通うなど勢力的に創作活動を行ってきた。2019 年より NPO 法人スウィングに所属し、100 号の絵画や刺繍の制作に取り組んでいる。悩むことも多いが周りの人たちと相談をしながら制作を進めている。ヌードを描くことと花を描くことに特に違いはなく、どちらも輪郭（花びら / 顔）から描き始める。絵はサッと描ける一方、刺繍は数ヶ月かかることもあるが飽きたりはしない。「あふる」という名前の由来は「幸せが溢れますように」との願いが込められている。



ことしの春が、やってきました。
まっさらなノートをひらくように、新しい季節のおとずれを喜びたいと思いました。
” Spring”という言葉には、春だけでなく「パネ」や「泉」といった意味もあるそうで、
それらの由来をさかのぼると「突然でてくるもの」や「はじまり」といった言葉へとたどりつきます。
本展では” Spring up Spring”《はねあがる春》と題し、絵画を中心に 5 名の作家から芽吹いた、
とびきりの春をご紹介します。

凛とたたずむ優しい花。
色えんぴつでかさなる色彩は可愛らしく咲み。
画面いっぱいにはじける形は鮮やかに躍ります。
大きな花はおおらかに唄い、小ぶりの花たちからは密やかなお話が聞こえてくるようで、
そのひとつひとつが愛おしく胸がはずんでしまいます。

明るい出来事の兆しとなるような、そんな出会いとなりますように。
みなさまの日々へ、淡い喜びの種をお持ち帰り頂けたら幸いです。

出品作品リスト

作家名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
MAMEMI	1 《はな》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	2 《さくら》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	3 《まる》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	4 《コスモス》	制作年不明	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	5 タイトル不詳	制作年不明	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	6 《おはな》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	7 《おはな》	制作年不明	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	8 《まる》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	9 《コスモス》	2021	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	10 《なのはな》	2019	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	11 《おはな》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	12 《まる》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	13 《かわいい》	2019	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	14 《こすもす》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	15 《はっぱ》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	16 《マリーゴールド》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	17 《コスモス》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	18 タイトル不詳	制作年不明	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	19 《おはなかわいい》	2019	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	20 《ラナンキュラス》	2021	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	21 《はっぱ》	2019	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	22 《チューリップ》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	23 《おはな》	2020	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	24 《まるかわいい》	制作年不明	色鉛筆、紙	27.2×38.4
	25 《まる》	2019	色鉛筆、紙	27.2×38.4
渡辺あふる WATANABE Afuru	26 《植物園に咲くヒマワリ》	2020	布、糸	43×34
	27 《Waiting for the Sun》	2020	鉛筆、アクリル絵具、キャンパス	162×130
	28 《歩くカメ》	2020	布、糸	31×28
中村郷美 NAKAMURA Satomi	29 《春の花》	制作年不明	水彩絵具、紙	30×21.7
	30 《あじさい》	2019	水彩絵具、紙	21.7×29.3
	31 《菜の花》	2019	水彩絵具、紙	22.5×30.7
	32 《春夏秋冬のファイル》	-	水彩絵具、紙	各 15×10
長村良彦 OSAMURA Yoshihiko	33 《色はいろいろ CLOVER & CHERRY》	2018	アクリル絵具、紙	38×54
	34 《ふちどりだけ》	2020	アクリル絵具、紙	38×54
	35 《エメラルドグリーン》	2017	アクリル絵具、紙	38×54
	36 《カラフルきのこ》	2020	アクリル絵具、紙	38×54
	37 《黒のふちどりで》	2014	アクリル絵具、紙	38×54
	38 《金色づくし》	2018	アクリル絵具、紙	38×54
	39 《PINK & PURPLE》	2017	アクリル絵具、紙	38×54
西谷文孝 NISHITANI Fumitaka	40 《あかとしゅいろ》	2018	アクリル絵具、紙	38×54
	41 《どくだみ草》	2020	墨、紙	38×30
	42 《ニレの花》	2017	墨、紙	39×54
	43 《線》	2020	布、糸	49×111
	44 《赤い実》	2020	墨、紙	47.7×40